

## 【証印の受有者が適任証書を申請する場合の例】

## 航海当直部員資格認定申請書

(西暦) 2026年4月1日

〇〇運輸局長 殿

航海当直部員の資格の認定を受けたいので、船員法施行規則第77条の2の3第2項の規定により申請します。

## 1. 認定の区分

<input type="checkbox"/> 証印	<input checked="" type="checkbox"/> 航海当直部員適任証書
-----------------------------	--

## 2. 申請者情報

申請者氏名	姓: 国土	名: 太郎	
(ローマ字)	Surname: KOKUDO	Given name: TARO	
		<input checked="" type="checkbox"/> 旧姓併記を希望する	
旧姓	運輸		
(ローマ字)	UNYU		
生年月日	1981年	11月	3日
性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女	
住所	東京都江東区青梅〇丁目〇番〇号		
国籍	日本		
本籍(ローマ字)	TOKYO		
電話番号	〇〇〇-□□□□-△△△△		
E-mail アドレス	xxxxxxxx@yyy.com		

## 3. 認定を受けようとする資格の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 甲板部航海当直部員	<input type="checkbox"/> 機関部航海当直部員
<input type="checkbox"/> 甲種甲板・機関部航海当直部員	<input type="checkbox"/> 乙種甲板・機関部航海当直部員

## 4. 能力証明書の種別

<input type="checkbox"/> 乗船履歴を証明する書類	<input type="checkbox"/> 登録船舶職員養成施設の課程の修了を証する書類
<input checked="" type="checkbox"/> その他(有効な証印: KT01/1234567)	

## 5. 申請者の署名 (Signature)

船員手帳第5表の写しをご用意ください。

## 記載心得

- 1 申請者情報は、次のイからニまでの規定に従って記載すること。
  - イ ローマ字欄には、ヘボン式ローマ字により表記すること。ただし、氏名については、旅券の表記に合わせることができる。
  - ロ 申請者氏名欄（旧姓併記を希望する場合は、旧姓欄を含む。）には、外国人にあつては、（ローマ字）欄のみ記載すること。
  - ハ 旧姓欄には、認定の区分において、「航海当直部員適任証書」にレ点を付した場合であつて、「旧姓併記を希望する」にレ点を付した場合にのみ記載すること。
  - ニ 本籍欄には、日本国内の都道府県を記載すること。なお、外国人にあつては、本籍欄は記載せず、国籍欄のみ記載すること。
- 2 認定を受けようとする資格の区分は、該当するものにレ点を付すこと。
- 3 能力証明書の種別は、該当するものにレ点を付し、その証明書を添付すること。
- 4 申請者の署名は、自筆によること。
- 5 船員法第 83 条の健康証明書の写しを添付すること。